

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年2月10日

計画の名称	30. (上越市) 雪や災害に強く、「人」の命を守るため、「防災力」と「安全性」を高めた上越の「みち」(防災・安全)									
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)			交付対象	上越市					
計画の目標	雪と上手に付き合う暮らしを実現するため、また「地域防災力の向上」と「交通安全対策の推進」を図るため必要な道路の整備、維持管理等を行うことにより、安全で安心な上越の「みち」を目指す。									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪対策に対する市民満足度を32.7% (H26)から34.0% (H30)に増加させる。</li> <li>H26年度当初の消雪パイプの更新計画延長L=5.7kmのうち、平成30年度末までにL=4.6km (80%)を完了させる。</li> <li>老朽化対策が必要な施設(舗装)に対し、対策を実施した割合を向上させる。</li> <li>上越市道における交通事故(人身事故)発生件数を10%減少させる。</li> <li>道路冠水対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。</li> <li>除雪機械の更新が必要な施設に対し、対策を実施した割合を向上させる。</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)				
①	市民アンケート調査における「雪対策」の設問に対し、「満足している」または「ほぼ満足している」と回答した市民の割合。			32.7%	-	34.0%				
②	$\text{〔更新率〕} = \frac{\text{〔更新完了延長〕}}{\text{〔更新計画延長〕}} \times 100\%$ H26年度当初の消雪パイプの更新計画延長=L=5.7km			0.0%	-	80.0%				
③	舗装修繕計画における対策必要箇所数に対する対策完了箇所数の割合により計測する。			0.0%	-	84.5%	「上越市舗装修繕計画」に基づく舗装修繕			
④	新潟県警の交通事故調査における年間の上越市道の交通事故(人身事故)発生件数により計測する。			227件	-	204件				
⑤	道路冠水対策の対策必要箇所数に対する対策完了箇所数の割合により計測する。			0.0%	-	100.0%				
⑥	除雪機械の更新が必要な施設に対し、対策を実施した割合を向上させる。			0.0%	-	75.8%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,110百万円	A	4,110百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上越市(都市整備部道路課)	令和3年1月
	公表の方法
	上越市HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
30-A1	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(2) 裏浜線	橋梁架替 L=0.24km	上越市						409	
30-A2	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(他)西ヶ窪浜4号線	道路改良 L=0.55km	上越市						56	
30-A3	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(2) 岡線	歩道空間確保(路肩拡幅)、橋梁架替 L=0.14km	上越市						194	
30-A4	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(1) 板倉中央線	歩道整備 L=0.81km	上越市						195	
30-A5	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(他) 東中学校線	側溝改良 L=0.13km	上越市						9	
30-A6	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(1) 牛町鴨井線ほか	歩道整備 L=3.33km	上越市						355	
30-A7	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1) 下四ツ屋長者町線ほか	舗装修繕 L=6.5km	上越市						225	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H26	H27	H28	H29	H30			
30-A8	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(1)北本町春日山線ほか	流雪溝整備 L=13.0km	上越市						23		
30-A9	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(他)東城町東本町線ほか	消雪パイプ更新 L=5.47km	上越市						566		
30-A10	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(他)武士西部線	消雪パイプ更新 L=0.4km	上越市						37		
30-A11	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(他)下米沢南中島線ほか	消雪パイプ更新 L=0.2km	上越市						7		
30-A12	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(他)南中島古屋敷線	消雪パイプ更新 L=0.18km	上越市						27		
30-A13	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	雪寒	(1)関根南中島線ほか	消雪パイプ更新 L=0.4km	上越市						41		
30-A14	道路	一般(雪寒)	上越市	直接	—	市町村道	除雪(機械)	(1)福田春日新田線ほか	除雪機械購入	上越市						476		
30-A15	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)大豆二丁目29号線ほか	歩行空間整備(側溝蓋掛け) L=1.12km	上越市						70		
30-A16	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(1)藤巻岩木線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.19km	上越市						28		
30-A17	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	改築	(他)西ヶ窪線ほか	道路改良(冠水対策) L=0.3km	上越市						93		
30-A18	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	修繕	(他)飯室線	側溝改良 L=0.15km	上越市						7		
30-A19	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)沼木線	視距改良 L=0.1km	上越市						77		
30-A20	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	点検	道路ストックの総点検	道路ストックの点検	上越市						30		
30-A21	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(2)四ヶ所大日線	歩道整備 L=0.82km	上越市						129		
30-A22	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)春日山荘南団地15号線	安全施設設置 L=0.13km	上越市						11		
30-A23	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)平山団地1号線ほか	歩行空間確保(路肩拡幅) L=3.69km	上越市						239		
30-A24	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(1)下新町上野田線ほか	歩道整備 L=0.58km	上越市						64		
30-A25	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(1)東中島三分一橋線	歩道整備 L=0.40km	上越市						130		
30-A26	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(2)駒林東中島線	交差点改良 L=0.07km	上越市						14		
30-A27	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(1)大湯1号線	交差点改良 L=0.02km	上越市						5		
30-A28	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)坂田村中線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.02km	上越市						47		
30-A29	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)春日山町団地南幹線ほか	歩行空間確保(路肩拡幅) L=2.17km	上越市						102		
30-A30	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)北本町四丁目飯線(飯踏切)	踏切改良 L=0.02km	上越市						120		
30-A31	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	修繕	(1)石川岡沢線ほか	舗装修繕 L=4.7km	上越市						163		
30-A32	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)旭1号線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.05km	上越市						6		
30-A33	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)北本町四丁目飯線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.12km	上越市						6		
30-A34	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)大湯322号線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.14km	上越市						6		
30-A35	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(2)裏浜線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.57km	上越市						21		
30-A36	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	改築	(他)上中田中原線	冠水対策 L=0.20km	上越市						40		
30-A37	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	交安	(他)南本町二丁目1号線	歩行空間確保(路肩拡幅) L=0.02km	上越市						8		
30-A38	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	改築	(他)下名柄川端線	冠水対策 L=0.47km	上越市						52		
30-A39	道路	一般	上越市	直接	—	市町村道	改築	(他)西本町一丁目4号線	歩行空間確保(幅広路肩) L=0.09km	上越市						22		
合計																	4,110	

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する  
交付対象事業の効果の発現状況

・道路整備や雪対策を促進することにより、市道における交通事故件数の減少につながった。

II 定量的指標の達成状況	指標①雪対策に対する市民満足度	最終目標値	34.0	目標値と実績値に差が出た要因	消雪パイプ整備や除雪などにより雪処理の改善を進めてきたが、雪対策に対する市民のニーズが多様化しており、最終実績値が最終目標値を下回る結果となった。
		最終実績値	32.1		
	指標②消雪パイプ更新計画の更新率	最終目標値	80.0	目標値と実績値に差が出た要因	消雪パイプの更新を計画的に行い、最終実績値が最終目標値を達成している。
		最終実績値	100.0		
	指標③舗装修繕計画における要対策箇所対策完了率	最終目標値	84.5	目標値と実績値に差が出た要因	上越市舗装修繕計画に基づく舗装修繕を実施してきたが、最終実績値は83.3%（10箇所/12箇所）であり、最終目標値を下回る結果となった。 本計画期間内で完了しなかった箇所は引き続き次期計画で事業を実施し、事業完了を目指す。
		最終実績値	83.3		
	指標④上越市道における交通事故発生件数	最終目標値	204	目標値と実績値に差が出た要因	歩道整備や交差点改良などにより交通安全の確保を行い、最終実績値が最終目標値を達成している。
		最終実績値	92		
	指標⑤道路冠水対策の要対策箇所対策完了率	最終目標値	100.0	目標値と実績値に差が出た要因	対象となる「西ヶ窪線ほか」が事業中のため、最終実績値が最終目標値を下回る結果となった。 引き続き次期計画で事業を実施し、事業完了を目指す。
		最終実績値	0.0		
	指標⑥除雪機械の更新率	最終目標値	75.8	目標値と実績値に差が出た要因	除雪機械の更新を計画的に行い、最終実績値は85.0%（17台/20台）であり、最終目標値を達成している。
		最終実績値	85.0		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

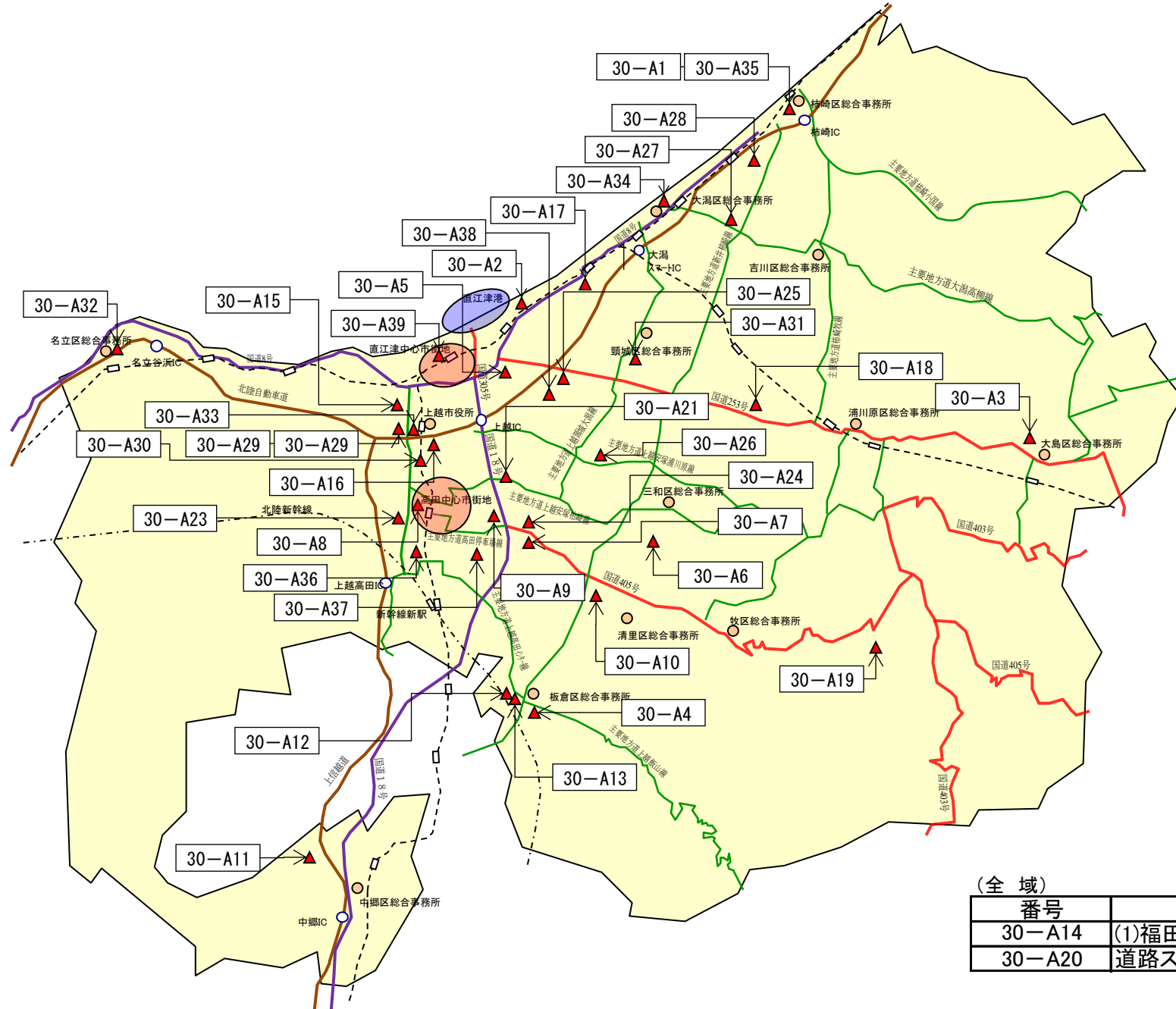
3. 特記事項（今後の方針等）

・今後も「地域防災力の向上」と「交通安全対策の推進」を図るため必要な道路の整備、雪対策、維持管理等を行い、安全で安心な上越の「みち」を目指す。  
・本計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き次期計画で事業を実施し、早期に効果が発現するよう事業を促進する。

計画の名称 (上越市) 雪や災害に強く、「人」の命を守るため、「防災力」と「安全性」を高めた上越の「みち」 (防災・安全)

計画の期間 平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)

交付対象 上越市



(全域)

番号	要素事業名
30-A14	(1)福田春日新田線ほか
30-A20	道路ストックの総点検